

カレント自動車(7690)

顧客ニーズに応える周辺事業の多角展開が、中古輸入車両の買取り・販売とのシナジーを通じ成長を後押し

TOKYO PRO Market | 自動車卸売 | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7690:JP | REUTERS 7690.T

- 自動車アフターマーケット領域で事業を展開し、主力の中古輸入車両の買取り・販売のほか、関連する周辺事業を多角展開している。
- 2019/10 通期は、売上高が前期比 52.4%増、営業利益が同 3.0 倍、経常利益が同 2.2 倍、当期利益が同 2.4 倍の増収増益だった。
- 中古輸入車両の保有に係るニーズに対応して周辺事業を多角展開することで顧客との関係を深め、持続的な安定収益が期待されよう。

What is the news?

同社グループは、自動車のアフターマーケット領域で事業展開している。2019/10期の売上構成比は、主力の車両部門が77%、車両関連部門が23%である。車両部門は、自社運営のWEBサイト「外車王」を通じて中古車を買取り、オートオークションを通じて市場への再流通を行うか、または自社で運営する輸入名車専門店を通じて売却する。車両関連部門は、IT事業、パーツサプライ事業、修理・整備事業、整備ネットワーク事業、その他事業から構成される。IT事業は自社運営のWEBサイト「外車王」における中古車買取査定依頼案件を取り扱う。整備ネットワーク事業は連結子会社のICINを通じて輸入車整備工場運営に係る「ドクター輸入車」のフランチャイズ本部を運営している。

2019/10 通期は、売上高が前期比 52.4%増の 23.27 億円、営業利益が同 3.0 倍の 1.35 億円、経常利益が同 2.2 倍の 1.25 億円、当期利益が同 2.4 倍の 6,478 万円。輸入車の品質向上や多様性に富むモデルが多数出て国内輸入車販売台数が増加したことを受け、オートオークションへの出品車両が増加したことが業績に寄与した。部門別売上高は車両部門が同 54.0%増の 17.81 億円、車両関連部門が同 47.5%増の 5.46 億円だった。

How do we view this?

2020/10 通期の会社計画は、売上高が前期比 1.2%減の 23.00 億円、営業利益が同 8.0%減の 1.25 億円、経常利益が同 4.7%減の 1.20 億円、当期利益が同 11.1%増の 7,200 万円。自動車アフターマーケット領域は相対的に需要が底堅いと想定されるものの、新型コロナウイルス感染症の先行き不透明な状況を反映して減収減益の予想としている。ただし、当期利益は前期に投資有価証券評価損を計上した反動増により増益見通しとした。同社の事業モデルは、中古輸入車両の買取りと販売を主力事業とするが、それにとどまらず、販売後の保有に係る車両整備、部品交換などのニーズに応じて個々の顧客と長期的な関係を深めることで安定的に収益を上げることを目指していることから、周辺事業の多角化が主力事業を補完するシナジー効果を発揮しやすい面があるだろう。今後は WEB サイトにおける IT 化と情報化を一層進めることで同社がターゲットとする車好きのマニア層にアプローチする戦略の深化が求められよう。

業績推移

事業年度	2018/10	2019/10	2020/10F
売上高(百万円)	1,527	2,327	2,300
経常利益(百万円)	38	125	120
当期利益(百万円)	27	64	72
EPS(円)	45.16	107.97	120.00
PER(倍)	46.50	19.45	17.50
BPS(円)	77.66	185.89	-
PBR(倍)	27.04	11.30	-
配当(円)	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-

(※)2020/2/27付で普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を実施したが、2018/10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 2,100 2020/5/20(基準値)

会社概要

2000年に代表取締役社長の江頭大介氏が中古輸入車の買取り・販売を目的として横浜市で設立。同社グループは自動車のアフターマーケット領域で事業を展開している。事業セグメントは「車両およびその関連事業」の単一セグメントだが、単一セグメントによるリスクを回避すべく周辺事業を多角展開し、以下の7事業を手掛けている。

車両部門は、①自社運営のWEBサイト「外車王」を通じて中古車の買取りを行い、オートオークションを通じて市場への再流通を行う「輸入車買取事業」、②自社の輸入名車専門店より、車好きのマニア層に人気の高い中古車モデルを販売する「輸入車販売事業」から構成される。

車両関連部門は、③「外車王」における買取査定依頼案件を提携パートナーに紹介する「IT事業」、④整備事業者への卸売りや自社運営のECサイト「EURO AUTO」を通じた販売により輸入車に特化したパーツの供給事業を行う「パーツサプライ事業」、⑤車両整備工場の運営とともに、「ドクター輸入車」の旗艦店としての機能も併せ持つ「修理・整備事業」、⑥輸入車整備に特化した整備事業の「ドクター輸入車」のフランチャイズ本部を運営する「整備ネットワーク事業」、⑦クラシックカーの電気自動車へのコンバート(変換)サービス、レンタカーサービスなどを行う「その他事業」から構成される。2020/5/20にTOKYO PRO Marketへ上場を果たした。

企業データ

主要株主(2020/4/17)	(%)
1.江頭大介	40.00
2.ディーイー工業合同会社	40.00
3.竹下智彦	10.00
4.渡辺一世	5.00
5.鈴木大基	2.00
5.石原直人	2.00

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。